

# 楽しめるならきっと続けられる

「やりたいこと」自分で「やる」



大学の1年後輩の後藤みどりさん(右)を取締役に。研究開発以外は全てごなす頼れるパートナー

起業したのは、誰かに頼まれたわけじゃなく、自分で決めたこと。  
好きなこと、やりたいこと、楽しめることだから、時にはつらいことがあっても  
「きっと続けられる」と、若者たちは希望に満ちた笑顔で話します。

バイオベンチャーで  
全国の農家に貢献

県の特産品である「球磨焼酎」を醸造する時に出る焼酎粕を使い、農業に役立つ光合成細菌という微生物をたくさん増やすキットを開発した古賀碧さん(27)。崇城大の起業部に入部し、そこでビジネスの種を見つけ、成長させ、起業を果たしました。

古賀さんが大学2年生の時に創部された起業部。「フクワクすることができそう」という興味を持ちながら入部しました。「部活で最初に知り合ったのは、球磨焼酎と県産果物を使ったりキウリの開発。蔵元4社の協力を得て、商品化から販売まで手掛けました。」この活動を通して、蔵元では焼酎粕の処理に困っていることを知り、私が学んできた知識を役立てられないかと考えたんです」

これまで産業廃棄物として有料で処理してきた焼酎粕を餌にして、光合成細菌を培養することはできない



やりたいことで誰かの役に立てたら幸せ

株式会社 Ci amo  
古賀 碧

現在、崇城大学大学院 工学研究科 博士後期課程 応用生命科学専攻に在学。2018年4月に起業し、株式会社Ci amo(シアモ)を設立。学生と社長を両立



光合成細菌と培養液がセットになった「くまレッド」。2L培養キット(550円)からネットでも販売

かと研究開発を重ね、商品化を実現させました。「光合成細菌は農業の減量や、農作物の生産量アップに重宝されていますがとても高価です。私が開発したくまレッド」を使えば農家さんが光合成細菌を自分で増やせるので、「安価で手軽に使えるようになった」と、とても喜ばれています」

現在、崇城大の大学院に籍を置く古賀さんは、起業部の部室である「SOJOベンチャーズラボ」の一角を借りてオフィスにし、商品も大学内と球磨地域で製造しています。また

(左上に続く)

出資はその第2号です。

起業家育成を目指す大学のさまざまな支援にとっても感謝している、と古賀さん。「起業部の先生には「くまレッド」の販売代理店を増やすことや、新商品開発の相談などに乗っていただいています。また各界で活躍されるメンターの方々と起業後も交流することができ、相談ができる関係になれたことも大きな財産です」

大学院を卒業し恵まれた環境から完全独立する時に向けて、準備も始めています。今後は製造作業を外注し、研究開発に特化していく予定だとか。「焼酎粕を使った新商品も開発したいです。私の地元である人吉球磨の力になり、ビジネスで雇用を生んで、地域貢献するのが目標です」

崇城大学  
起業部



日本初の部活として創部  
「アントレ教育」も充実

5つのワークエリアを設定した部室「SOJOベンチャーズラボ」

学生のフロンティア精神を育成する独自のアントレプレナーシップ(起業家精神)教育を展開する崇城大。常識にとらわれない思考や課題解決に導くチームワーク、情熱を持ち続けるマインドを身に付けます。日本初となる大学公認の「起業部」が2014年に発足し、現在57人が活動。社会の第一線で活躍するメンターを招いての講演やセミナーの実施、起業する学生への出資体制なども整備。独自のビジネスプランコンテストも開催しています。

起業を応援する  
大学の取り組み

県内の大学では学生の起業家精神を育てる教育を行ったりビジネスプランコンテストを主催したりと支援に積極的です。企業の課題解決に学生が知恵を絞り経営センスを磨く取り組みもあります。